



講師の伊東達也氏

世界初めての原発震災 福島第一原発事故!

3年10ヶ月たった原発震災の深刻さと課題を熱く語る!! 創立25周年記念講演会に170名余の組合員・市民が参加

さるかどした

八戸医療生活協同組合
〒031-0001
八戸市類家5丁目38-20
発行責任者 内田弘志
TEL 0178-71-3456

伊東達也氏講演要旨

伊東氏は冒頭で、今年には原発推進と再稼働をめぐって激突の年になると述べました。現在21基の原発審査が申請され、その中に青森県の大間原発、東通原発、六ヶ所再処理工場が含まれています。この内、3施設は既に稼働しているが、敷地内にも断層があり、大地震の恐れがあります。万が一の放射能が外に放出されれば、青森県の存立そのものが問われる事態にまで至る可能性があります。規制基準が世界的に厳格化されているにもかかわらず、このような状況が繰り返されれば、福島第一原発事故の再来を恐ろしく感じました。

伊東氏は冒頭で、今年には原発推進と再稼働をめぐって激突の年になると述べました。現在21基の原発審査が申請され、その中に青森県の大間原発、東通原発、六ヶ所再処理工場が含まれています。この内、3施設は既に稼働しているが、敷地内にも断層があり、大地震の恐れがあります。万が一の放射能が外に放出されれば、青森県の存立そのものが問われる事態にまで至る可能性があります。規制基準が世界的に厳格化されているにもかかわらず、このような状況が繰り返されれば、福島第一原発事故の再来を恐ろしく感じました。

特別報告

「福島被災地訪問と支援活動」

講演に先立ち、八戸医療生協がこれまで行ってきた支援活動と福島被災地訪問の報告がありました。医療生協として、つなぐ力を生かして、福島の子供や、被災者の生活の回復に努めています。福島県内の被災地を回り、被災者の生活の回復に努めています。福島県内の被災地を回り、被災者の生活の回復に努めています。



福島被災地訪問と支援活動の様子。多くの組合員と市民が参加し、被災地の現状や課題について話し合いました。

▽深刻な福島の現状

今でも12万3千人の避難者がいます。避難生活が長期化するにつれて、生活の困窮や精神的苦痛が深刻化しています。また、原発事故による健康被害や環境汚染の問題も依然として懸念されています。

この現状を打開するためには、国や地方自治体のさらなる支援が必要です。また、被災者同士の助け合いやボランティアの活動も重要な役割を果たしています。

▽自然エネの先進県に

◆寄せられた感想◆

最後に、課題として、健康診断・低線量被曝の見直しや、労働者の健康診断・検査・医療費の負担軽減など、労働者の健康を守るための施策を求めました。

胸にひしひし響くお話でした。六ヶ所や東通村を抱える青森は真剣に考えなければ取り返しのつかない事になると思います。原発事故の深刻さがよく分かりました。多くの方に聞かせたかったです。



「生協たむかひの家」入居者募集

◆入居対象者 介護保険の認定で要介護1以上の方
◆受付 平成27年4月1日(水)から開始

- 入居までのながれ**
- ①相談 窓口で電話、又は担当ケアマネジャーに相談
 - ②申し込み 入居申し込み用紙に記入し提出
 - ③面談 ホームの説明、入居予定者の状態確認、ご本人ご家族の意向確認
 - ④判定会議 入居判定会議を開催し、入居の可否を判定
 - ⑤入居決定 入居可否と入居日のお知らせ
 - ⑥サービス調整 ケアマネジャーを中心に必要な介護プランの作成
 - ⑦入居契約 入居契約の実施
 - ⑧入居

※6月から順次入居の予定です。入居は申し込み順ではありません。入居判定会議で総合的に検討します。詳しくは、開設準備室までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ 開設準備室 (0178-71-1055) 井端、八森まで

診療所休診日

(毎月最後の土曜日)

月	休診日
3月	28日
4月	25日
5月	30日

平和・社会保障委員会
一山 義夫

虹の旗

太平洋戦争が終わって4年、厚紙でできたランドセルを背負った、張り切った吹上小学校の入学。当時は雪の量がすごいほど多かった。大通りには馬車が走り回り子供たちは、そのそばを歩かざるを得なかった。義経伝説のある館越山には一軒の家もなく頂上から大型のそりで一気に一中そばまで降りる遊びをしていた。山の東側は田向地区で今高年齢者住宅「たむかひの家」建築中。すぐそばの花水河原では鮭の遡上やウグイのつかみ取り、貸しポート屋があり市民の憩いの場になっていた。▼生協診療所や本部の建っている類家一帯は一面の田んぼで、「こせる」と呼ばれていた清流が新井田川から田向を通りぬけて類家田んぼの用水になっていた。フナやナマズやドジョウなどたくさんいて、夏にはホタル、秋はイナゴ採り、当時は自然が豊かではいい思い出になっている。